

全国 検数労働

538号

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2
 日港福会館5階
 Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
 メール rouren@kensu.jp
 ホームページ http://www.kensu.jp/
 全国 検数 労働 組合 連合 書 記 局



6月6日(火)14:00~14:40 第1回 検数労働17夏季一時金交渉 17夏季一時金要求書提出！ 検数職場で働く従業員のモ チベーションを上げるべく、要求に沿った回答を求めろ！

2017年夏季一時金要求書 (要旨)

記

1. 夏季一時金について
 - (1) 要求方式と要求額について
 - ① 日検協会
(本給十家族) × 3.0ヶ月十一律 10万円 + 都市加算
 - ② 全日検
職員A
(本給十家族) × 3.0ヶ月十一律 10万円 + 都市加算
職員B
(本給十地域年齢) × 3.0ヶ月十一律 10万円 + 都市加算
 - ③ 都市加算の支給区分と金額については、別表の通りとする。
 - ④ 職員以外の従業員は、職員に準じて支給すること。
 - (2) 支給条件について
 - ① 長期病欠者に対して、各々の支給基準の70%を支給すること。
 - ② 通勤災害による休業者についても労災休業者と同ー取り扱いとすること。
 - ③ 一切の協会査定 (特別評価) は行わないこと。
 - ④ 転勤者の取り扱いについては、計算期間中のそれぞれの所属地の地域区分に基づき日割り計算、または6月1日現在所属地の地区区分のいずれか有利な方を適用すること。
- (3) 支給日について
2017年7月10日(月) とすること。

第一回 検数労働17夏季一時金交渉

【17夏季一時金要求書 確立】

6月1日(木)と2日(金)にかけて横浜・汐止場会館で開催された検数労働代表者会議で、17夏季一時金要求組織について論議を行い、左記のとおり要求内容で確認されました。

各地域より出された意見として、乗率3ヶ月へのこだわりや、17春闘での不足を一時金で補わせるための構築を求める声が多数出

されました。

また、生活実態や職場実態として、17春闘アンケートにもあったように生活実態では『苦しい』『やや苦しい』と答えている組合員が多数いることや、職場実態では『慢性的な人員不足』との声が多い中で、両協会に対しては、検数職場で働く従業員の日々の労苦に訴えるべき要求に沿った回答構築をさせるよう求めていくことで、全体確認がされました。

【組合主張】

17夏季一時金要求を確立するにあたり、各地域労働支部の代表者を招集して代表者会議を開催し、要求と

【要求書提出】

6月6日(火)第一回検数労働17夏季一時金交渉で、組合は両協会に対して17夏季一時金要求書を提出しました。要求書提出にあたり、組合は次のとおり主張を行いました。

【日検協会】

5月30日に定時総会を開催し、会長・副会長を含む新体制が決まった。

現在、港湾情勢は厳しい状況下にある中で、検数は港湾の中でも更に厳しい状況下にあると言える。このような状況であるが、労組要求を持ち帰り、有懇回答に向けて鋭意検討していきたい。

【全日検】

第63期総会が終了し、新体制となった。厳しい状況ではあるが、従業員が安心して働けるよう一つでも労働条件を良くしたい思いは変わらない。一時金要求については持ち帰り鋭意検討していきたい。

ただかい方について確認した。

各地域より出された意見としては、17春闘の回答に対する不満の声が多く、職場では従業員のモチベーションが下がっているとの意見が多数出された。

そうした状況下において、17春闘での不満が反動となり『17夏季一時金への大きな期待』となっている。既存業務の狭小化傾向や主力取り扱い貨物の減少などが両協会の社内報には書かれていたが、職場では慢性的な人員不足の声が多く出ている中で、従業員のモチベーションを上げるべく、我々の要求に沿った回答を構築するよう強く求める。

※次回交渉 第2回 検数労働17夏季一時金交渉

6月20日(火) 10:00~

※スト権集約について、6月12日(月)17時までに中央集約とします。